# 令和7年度市民大学講座　講義録

**2025年7月2日（水曜日）　第2回講座**

**『日本画家　田中一村と千葉』**

**講師：千葉市美術館　副館長　松尾　知子**

田中一村は、奄美大島の動植物と風景をモチーフとし、孤高の美を描き出した日本画家です。作品は、没後の NHK・TV 放映を契機に評価が高まりました。講座では、田中一村の生涯を東京時代（～29 才）、中央画壇と一線を画した千葉時代（～50 才）、奄美時代（～69 才）に分け、その作品群の紹介・解説がありました。奄美での飛躍は、千葉時代の人々の支えと身近な田園風景の描写が礎になっているとの解説もありました。芸術家の生き方についても考えさせられる貴重な時間でした。